

第2回東久留米市まち・ひと・しごと創生推進懇談会 会議要録

■開催概要

【開催日時】	2015年10月30日（金） 18:30～20:05
【場所】	東久留米市役所
【出席者】	委員：平井、木村、水越、齋藤（利）、齋藤（京） 事務局：佐々木、森山、他2名

■議事

1. 開会

事務局より開会のあいさつがなされた。

2. 議題

(1) これまでの開催経過について

これまでの開催経過について事務局より説明がなされた。

(2) 東久留米市人口ビジョン及び東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略

東久留米市人口ビジョン及び東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略について事務局より説明がなされた。

(3) 意見交換

【アンケート調査について】

委員)

- ◇ 数値目標はアンケート結果で出てくるものと、統計で出てくるものがあるが、アンケートはどのように実施するのか。

事務局)

- 行政評価の一環として以前より施策成果アンケートを実施しているところであり、これを総合戦略策定に際して行う予定である。

【健康増進・サポート事業について】

委員)

- ◇ 健康増進・サポート事業のポイントプログラムのイメージについて教えてほしい。
- ◇ 対象者は全員なのか。ポイントの活用はどんなイメージか。

事務局)

- 被保険者自ら特定健診のデータをスマートフォンやパソコンなどで確認し、健康に対する意識を高めてもらう制度に加え、閲覧によってポイントを付与する仕組み。

- ポイント活用の詳細は詰め切れていないが、健康器具やスポーツセンターの利用券などの発想が出ている。

委員)

- ◇ 対象となる国民健康保険の被保険者の人数はどのくらいか。年齢構成は。

事務局)

- 人口 11 万 7 千人のうち、3 万人超である。構成は高齢者が多い。

委員)

- ◇ 例えばスポーツセンターなどは、そもそも健康に興味がないから行かないのであって、利用券をもらっても行かないのではないか。地域振興券のようなものを配られれば良いのでは。

事務局)

- 今後、健康課と産業政策課と協議を行う上で、参考とさせていただく。

【観光資源活用促進事業について】

委員)

- ◇ 大田区は民泊の条例なども出している。東久留米市としても東久留米らしい取り組みを何か進めていくべきだと思う。
- ◇ 東久留米市にはクリスチャンアカデミーがあるなど、外国人がたくさん住んでいるという点をもっと活用できればと思う。

委員)

- ◇ 外国人観光客を呼び込む事業なのか。

事務局)

- 外国人観光客に特化した事業ではないが、看板などは多言語対応などが考えられている。

【にぎわいと活力あふれるまちについて】

委員)

- ◇ 基本目標の「にぎわいと活力あふれるまち」における数値目標で書かれている商店について、商店街などの商店というイメージなのか。

事務局)

- 特に特定の形態に絞った意味合いではなく、買い物ができるところというイメージである。

【防災力・防犯力の向上について】

委員)

- ◇ 防災マップ全戸配布事業の KPI について、災害発生時に安全な場所へ避難できるという割合 80%となっているが、高齢者の方も独自で避難できるということか。かな

り高い数値目標だと思われるが。

事務局)

- 「災害発生時に安全な場所へ避難できる」という設問に対する市民回答であるので、避難所がどこにあるか認識している、身近に避難できる場所があると感じているというようなレベルの回答であると思われる。

委員)

- ◇ 犯罪に関する視点について、この地域は振り込め詐欺などの犯罪が多い地域と聞いているが、警察との連携などの項目はどうか。防犯力についての取り組みが必要だと思う。

事務局)

- 生活の安全・安心の向上は優先度の高い施策となっている。こういったご意見を頂き、今後戦略を取り組んでいく上で重要な視点となる。

委員)

- ◇ 備蓄食料の保管はどこでされているのか。

事務局)

- 東久留米市は分散備蓄を中心に考えているので、備蓄品としては避難所に保管されている。あとは学校や施設など、その場で備蓄している個所もある。

【人口ビジョンについて】

委員)

- ◇ 人口の将来展望の展望から、総合戦略への接続の部分が少し弱いと感じる。高齢者がいきいきと暮らせるまちを目指しながら、総合戦略ではウエイトを置いていない部分に違和感を覚える。年齢が上がっていくにつれての転出抑制の部分が触れられても良いのではないか。

事務局)

- 今回の総合戦略は既存の事業から持ってきているということもあるため、確かに子育ての施策・事業がウエイトを占めている部分もある。

委員)

- ◇ 合計特殊出生率が 1.43 になった原因の分析は出来ているか。

事務局)

- 詳細な分析は出来ていないが、大規模団地の建て替えの要素は大きいと思われる。都市計画道路の進捗などに伴う宅地開発など、様々な要因が考えられる。

委員)

- ◇ 合計特殊出生率はコーホートで切っていくので、子育て世代が社会移動で入ってくると上がる要素があると考え、子育てについては上手くいっていると考えることもできるのではないか。

事務局)

- 行革一辺倒だった計画から、バランスを取ってやっていく流れに変わり、施策の打ち方を効果的に出来る部分もある。また、宅地の開発や商業施設の建設など、市のイメージアップが図れた部分もある。子育て施策でいえば、子供土曜塾や放課後子供教室なども取り組んでいく。

委員)

- ◇ 今挙げた子育て施策も凄く良い施策だと思うが、それがあるから子育て世帯が転入するかといえば、そうではないと思う。今住んでいる世帯の学力などを上げるには良いけども、転入するかどうか。

委員)

- ◇ 女性が正規雇用で働き続けるようになると、夫と妻の勤務先がバラバラになるので、通いやすいところで、なおかつ保育や学童保育が充実している街が選ばれやすい街になりやすいのではないかな。

【KPI の設定について】

委員)

- ◇ KPI をどう設定するのは難しいところがあるが、KPI は可能な限り成果（アウトカム）を図る指標であるべき。事業を開催した回数などの活動量（アウトプット）の指標である項目も混在しているので、アウトカム指標なのかアウトプット指標なのかを明記すべきではないかな。

事務局)

- 他の計画の評価値などを流用している部分もあるのは事実である。今後検証する中で、また、事業が進むにしたがって変更が生じ、目標を見直すなどのことは必要であると考えている。

委員)

- ◇ 事業を行ってから、成果が出てくる時点が遅いものもあるため、それを評価しろというのは難しい部分もある。アウトプットにならざるを得ない部分もあるのではないかな。

3. その他

- ◇ 第2の三本の矢、1億総活躍などが今後関わってくるため、そのあたりを注視しながら進めてほしいという意見があった。
- ◇ 5市連携シンポジウムが11月1日（日）に開催される。石破大臣秘書官が基調講演され、東久留米市も市長が総合戦略について講演する予定であるため、情報提供する。

4. 閉会

事務局より閉会のあいさつがなされた。